



# 「こんにちは 市長です」 1月1日号

明けましておめでとうございます。

この2年間は「新型コロナをどうする！」が最大のテーマでした。国の経済対策も多方面にわたり、しかもかかる費用は膨大になりました。国民の生活を維持するために予算は膨らみ、本年度の当初予算は106兆円、暮れに成立した補正予算は36兆円になりました。税収が増えているわけではありませんので借入金依存になっています。借金でコロナ対策をやっているともいえます。千兆円を超えてしまった借金をどうする、という心配症の議論は聞きません。「日本の中でのお金の貸し借り、身内でのことだから借金は氷漬けにして金利だけを払ってあげればいいんだよ」と言う人がいます。「なるほど」とも思いますが「借金氷漬け論」でどこまで行けるのか。やはり心配です。

先日『最高の人生の見つけ方』（ロブ・ライナー監督、2007年、アメリカ）という古い映画を見ました。2度目、でも感動しました。ジャック・ニコルソンとモーガン・フリーマン、名優の主演です。二人ともがんで余命半年、1年以内を宣告された。病室は同じ。ニコルソンは大成功した経営者、犬猿の仲になっている娘だけが気掛かり。見舞いには誰も来ない。フリーマンは町の自動車修理工場をやっている。奥さんと子どもが頻繁に来て励ます。対照的な二人だが、やり残したことに挑戦してこの世にさよならをしようという考えが一致した。病院から出て旅を始める。スカイダイビング、サファリ、エジプト…。やり残したことをリストアップし、実行に移す。そして、旅の途中で気付く。「やり残したこと」とは、ニコルソンはお嬢さんと仲直りすること、フリーマンは家に帰って奥さんと一緒にいること。破天荒に挑戦的な旅をすることではなかった。旅を半ばで終え、最高の人生を確かめて人生を終える。

今年が最高の人生の始まりになることを願っています。

（12/14 記）